



「ありがとう！25周年」 骨髄バンク設立 25 周年記念 全国大会を 9 月 17 日に横浜市で開催します。（詳細は HP で）

日本骨髄バンクの現状（平成 28 年 8 月末現在）

	7 月	8 月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,974	2,465	464,283	677,507
患者登録者数	271	279	3,321	48,895
移植例数	118	87	—	19,834

■8 月年代別ドナー登録者数（現在数）

10 代	3,380 人
20 代	70,067 人
30 代	140,677 人
40 代	197,012 人
50 代	53,147 人

■8 月の 20 歳未満の登録者 129 人

■8 月の区分別ドナー登録者数： 献血ルーム／709 人、献血併行型集団登録会／1,631 人、集団登録会／75 人
 その他／50 人

■8 月末までの末梢血幹細胞移植 (PBSCT) 累計数：209 件

注) 数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 平成 29 年度予算の概算要求

平成 29 年度移植医療対策関係予算の概算要求の概要が厚生労働省移植医療対策推進室より示されました。造血幹細胞移植対策の推進に関する総額は 23 億 8,000 万円で、前年度の 22 億 8,000 万円に比べ 1 億円の増額となっています。

骨髄バンクの運営費である「骨髄移植対策事業費」は 4 億 5,800 万円で、前年度より 6,300 万円の増額となりました。また、前年度に続き「造血幹細胞移植関連情報システム一元化経費」が 3 億 3,700 万円計上された他、「造血幹細胞移植医療体制整備事業費」（拠点病院の整備）として 2 億 8,600 万円が計上されました。

2 10 月は骨髄バンク推進月間

10 月は骨髄バンク推進月間です。骨髄・末梢血幹細胞移植に対する国民の理解を深め、一人でも多くの方にドナー登録いただくために関係者の協力を得て全国各地でドナー登録会等の骨髄バンク推進キャンペーン行事が行われます。

■京都市骨髄バンク推進キャンペーン

コトチカ広場（地下鉄京都駅構内）で 10 月 23 日（日）に「京都市骨髄バンク推進キャンペーン」が開催され、KBS 京都ラジオの公開生放送や音楽演奏などのイベント、ドナー登録会が行われます。

■所沢市民フェスティバル

所沢航空記念公園（埼玉県）を中心に 10 月 29 日（土）、30 日（日）に開催される「所沢市民フェスティバル」で、献血とドナー登録会が開催されます。

<http://www.city.tokorozawa.saitama.jp/enjoy/event/shiminfes>

■スノーバンクペイイットフオワード

代々木公園（東京都）で 11 月 12 日（土）、13 日（日）に「スノーバンクペイイットフオワード 2016」が開催されます。このイベントは、2011 年から始まり今年で 6 回目となります。骨髄バンクをより多くの人に知ってもらい、スノーボードと共に、アートや食や音楽にのせて、「楽しい」から始まる社会貢献の場を創造・共有する場で、献血と骨髄バンクのドナー登録会も行われる予定です。<http://sbpif.net/>



3 福井&富山で読売巨人軍のドナー登録会

読売巨人軍の社会貢献活動「G hands」プロジェクトの一環として、8月30日（火）に福井県営球場、31日（水）に富山市民球場アルペンスタジアムの特設ブースで、ドナー登録会が開催されました。福井県で13名、富山県で27名のドナー登録がありました。骨髄バンク普及大使の佐々原聖子さんがミニライブを行い、来場者にドナー登録を呼びかけました。今回のイベント開催では、ライオンズクラブ国際協会 334-D地区の皆さま、行政と赤十字血液センターなどにご協力いただきました。

4 松来未祐さん愛悼イベント「サンキュー！未祐ちゃん」開催

昨秋、慢性活動性 EB ウィルス感染症で亡くなられた声優の松来未祐さんを偲ぶ『松来未祐さん愛悼イベント「サンキュー！未祐ちゃん」』が9月11日（日）に開催されました。

朝から多くのファンが来場した会場では、松来さんの写真や衣装の展示、チャリティグッズの販売、ステージの他に移植経験者や血液内科医による講演会も行われました。また献血と骨髄バンクドナー登録会も開催され42名の方にドナー登録いただきました。

5 東京都トラック協会主催の献血併行ドナー登録会

一般社団法人東京都トラック協会第5第6支部青年部主催の献血併行型骨髄バンクドナー登録会が、8月28日（日）に池袋駅東口（東京都）で開催され、20名のドナー登録がありました。ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

6 新たに6市町でドナー助成制度スタート

骨髄バンクを通じて造血幹細胞を提供したドナーのための助成制度が新たに6市町でスタートしました。導入している市区町村は全国で182になります。

助成内容は、各自治体に直接お問い合わせください（当法人ホームページに問い合わせ一覧を掲載しています）。

【新たに導入した自治体】

○浅口市 ○笠岡市 ○倉敷市 ○瀬戸内市 ○真庭市（以上岡山県） ○綾川町（香川県）

7 当法人の会議等開催予定

◆会議の傍聴をご希望の方は、事前に当法人総務部までお申し込みください。

会議名	公開・非公開	開催予定
業務執行会議	公開・一部非公開	9月16日（金）17時半～19時半 廣瀬第2ビル地下会議室
医療委員会	公開・一部非公開	10月8日（土）13時～16時 廣瀬第2ビル地下会議室
業務執行会議	公開・一部非公開	10月18日（火）17時半～19時半 廣瀬第2ビル地下会議室
ドナー安全委員会	非公開	10月23日（日）12時半～15時半 廣瀬第2ビル地下会議室

コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

8 「造血幹細胞移植支援システム」開発プロジェクト（コーディネーター業務機能構築）への参画について

平成 27 年度より日本赤十字社（以下「日赤」という。）が国庫補助を受けて構築する「造血幹細胞移植支援システム」の開発プロジェクトに、当法人が平成 28 年 9 月より参画しました。

本プロジェクトでは、日赤・当法人・臍帯血バンクにおいて独自に管理されている関連システムを刷新し、医療機関を含む関係機関が同一システムを使用するために構築を進めるものです。当法人は、コーディネーター業務機能の要件定義作業を担当し、平成 30 年度の完成を目指して取り組んでまいります。

9 「非血縁者間末梢血幹細胞採取マニュアル/骨髄採取マニュアルについて（マニュアル変更通知）」＜採取責任医師・コーディネーターの方へ＞

採取マニュアルの基準項目について採取施設より指摘を受け、当法人ドナー安全委員会で基準を見直し、一部変更しました。別紙ご確認の上、ご対応ください。

10 自己血貯血用冷蔵庫内の温度上昇により自己血が使用不能となった事例報告

このたび、採取施設の自己血貯血用冷蔵庫庫内の温度が上昇したため自己血が使用不能となり、骨髄採取が延期となった事例が報告されました。再発防止の観点から、緊急安全情報を発出しました。

11 ドナー最終同意確認時の後続ドナー終了ルールの再見直し

昨年 6 月に同ルールを変更しましたが、コーディネーターを進められるドナーが一人でも多くなるよう更に見直しました。

1. 変更点 ＜第一候補ドナーの最終同意確認時＞

■ 変更前

- 地区開始前のドナーは終了

■ 変更後

- 第一候補ドナー術前健診「適格」まで、地区開始前のドナーは原則として進行する。
これにより、ドナー最終同意確認時にコーディネーターが開始されている後続ドナーはすべて第一候補ドナー術前健診が「適格」となるまで原則として進行します。進行不要の場合はご連絡ください。

※ なお、次の点は変更ありません。

- 最終同意確認時以降、新たなドナー検索は行わない。

2. 変更日

9 月 20 日（火）から

12 「輸血同意書」等に関する説明について＜調整医師・コーディネーターの方へ＞

施設が用意する「輸血同意書」に記載されている同種血輸血の可能性について最終同意確認前に説明をする必要があるとドナーの方と医師から指摘を受けました。そのため、「ドナーのためのハンドブック」に輸血同意書等に関する説明を追加することとしました。

ハンドブックには次回改訂時に反映します。当面は、別紙を参照のうえご対応をお願いします。

13 コーディネート期間短縮を目指したアンケートのお願い（再掲）

MONTHLY JMDP8月号でお知らせしたように、「骨髄バンクコーディネート期間の短縮とドナープールの質向上による造血幹細胞移植の最適な機会提供に関する研究」では、コーディネートの実態調査を行い今後の対策を検討するため、骨髄バンク事業に協力いただいている医師・HCTC ならびにバンクコーディネーターのみなさまにアンケートをお送りしました。設問は役割に応じて設定されていますが、大半がチェック項目ですので是非ご協力くださいますようお願いいたします。回答期限は9月30日です。

http://www.jmdp.or.jp/information/post_320.html

※ 9月12日現在の回答数は医師・HCTC、バンクコーディネーター、JMDP職員あわせて310名です。

14 連絡事項

◆ドナーフォローアップレポートについて

「平成27年度ドナーフォローアップレポート」をホームページに掲載しました。経費削減の観点から、今年度より冊子は作成しないこととなりましたのでご了承願います。

当法人ホームページ 医師の方へ＞調整医師・採取医師の方へ＞平成27年度ドナーフォローアップレポートをご覧ください。

◆帳票改訂のご連絡（ドナーあて）「骨髄採取量および自己血準備量について」＜調整医師・コーディネーターの方へ＞

9月15日出力分から変更します。詳細は別紙をご覧ください。

◆帳票改訂のご連絡「非血縁ドナーの骨髄採取についてのお願い」「非血縁ドナーの末梢血幹細胞採取についてのお願い」＜採取責任医師の方へ＞

「非血縁者間末梢血幹細胞採取/骨髄採取マニュアルについて」の変更に伴い、9月15日出力分より帳票を改訂します。詳細は別紙をご覧ください。